

地方だより

本欄はJARLの各地方、各支部の行事案内やその結果などを掲載するページです。
次号「夏号」の原稿締切りは5月20日です。支部大会案内やコンテスト結果、
そのほか各種催し物など重要事項はお早目に地方だより係まで送稿してください。

各地の行事予定

表中の●印はコンテストです。

4月

- 1日 山形県 令和2年度山形県支部会員増強企画キャンペーン(～9月30日)
- 4日 ●神奈川県 第38回非常通信訓練コンテスト
●長崎県 2020年長崎県コンテスト(～5日)
- 5日 ●和歌山県 第32回和歌山コンテスト
- 11日 ●信越地方 第67回信越アマチュア局非常通信コンテスト(～12日)
- 12日 茨城県 支部役員・監査指導委員・クラブ代表者会議
- 18日 ●東北地方 第69回オール東北コンテスト(～19日)
●岩手県 第41回岩手県支部通信コンテスト(～19日)
- 19日 東京都 ハムらde無線フェア
長崎県 支部合同会議
上川宗谷 美深白樺樹液春まつり公開運用
- 25日 ●茨城県 第41回オール茨城コンテスト第1部(～26日)

5月

- 3日 ●東京都 第42回東京コンテスト
- 4日 ●静岡県 第30回静岡コンテスト
石川県 ARDF競技練習会
- 5日 ●三重県 第43回オール三重33コンテスト
奈良県 奈良ARDF練習会
上川宗谷 青少年とアマチュア無線家の活性化事業
- 9日 群馬県 2020群馬県支部ARDF競技大会(～10日)
●関西地方 関西VHFコンテスト(～10日)
●山口県 第19回オール山口コンテスト・HF部門(～10日)
- 鹿児島県 鹿児島国体特別記念局運用打合せ会議
●群馬県 第18回津軽海峡コンテスト(～10日)
●信越地方 第57回JA0-VHFコンテスト(～10日)
- 10日 四国地方 四国地方ARDF競技大会
長崎県 諫早市総合防災訓練
●長野県 2020年第15回長野県QSOパーティー(前期)(～24日)
- 16日 ●群馬県 第48回オール群馬コンテスト(～17日)
●山口県 第19回オール山口コンテスト・V/U部門, SHF部門(～17日)
- 17日 神奈川県 フィールドミーティングin宮ヶ瀬
大分県 役員会・ハム寺子屋
鹿児島県 鹿児島県総合防災訓練
秋田県 役員・委員・クラブ代表者合同会議
●新潟県 第20回新潟コンテスト(7MHz・ハイバンド)

- 21日 長崎県 長崎市総合防災訓練
- 23日 千葉県 フィールドミーティング2020
三重県 フィールドミーティング(～24日)
新潟県 2020新潟県ARDF競技大会
- 24日 埼玉県 技術講習会
愛知県 ちびっ子電波体験教室2020
長崎県 長崎県総合防災訓練
山形県 役員会
- 信越地方 2020信越地方ARDF競技大会
- 30日 福島県 電波の日記念移動運用(～6月7日)

6月

- 1日 秋田県 電波の日記念運用(～14日)
- 十勝 JARL十勝支部マラソンQSO(～10日)
登録クラブ代表者会議
- 6日 東京都 第49回オール神奈川コンテスト
●神奈川県 第44回宮崎コンテスト(～7日)
●宮崎県 2020年度石狩後志コンテスト(～7日)
●石狩後志 2020年ALL JA0 21/28MHzコンテスト
- 7日 ●長野県 山梨県 ハムの集い
●釧路根室 第39回オール釧根コンテスト
富山県 支部の集い
- 13日 ●岐阜県 第23回オール岐阜コンテスト(～14日)
●大分県 第18回大分コンテスト(～14日)
●山形県 第2回山形さくらんぼQSOコンテスト
- 14日 ●山梨県 第15回山梨コンテスト
鹿児島県 電波教室(AMラジオ工作)
秋田県 ハムの集い
山形県 クラブ代表者会議
●宮城県 宮城通信訓練コンテスト
●新潟県 第20回新潟コンテスト(ローバンド)
- 21日 ●鳥根県 第40回鳥根対全日本コンテスト
鹿児島県 第28回きやったもんせ かごつまARDF競技大会
- 渡島檜山 FOXハンティング競技大会
- 27日 ●北海道地方 2020ALL JA8コンテスト(～28日)
- 28日 茨城県 支部役員・監査指導委員・クラブ代表者会議
- 福島県 CW交流会
新潟県 地区研修会

7月

- 4日 ●茨城県 第41回オール茨城コンテスト第2部(～5日)
- 5日 オホーツク 第42回オホーツク支部野外ミーティング

お願い 新型コロナウイルスの影響が世界中を席巻しています。本号では令和2年4月1日以降の情報として各地の行事をご紹介しますので、地方本部・支部の情報やJARL Web「トピックス(今後のイベント開催について)」の情報などをあわせてご確認ください。▶JARL Web : <http://www.jarl.or.jp/>

- 11日 鹿児島県 鹿児島国体特別記念局移動公開運用(～12日)
- 12日 神奈川県 技術講習会
埼玉県 クラブ代表者・役員・監査指導合同会議
徳島県 2020年度第1回支部役員・クラブ代表者合同会議
長野県 第48回長野県支部大会
- 18日 ●青森県 第14回オール青森コンテスト(～19日)

- オホーツク 第44回オホーツクコンテスト(～19日)
- 19日 群馬県 支部大会
大分県 役員会・ハム寺子屋
新潟県 支部大会
- 26日 茨城県 ハムの集い
新潟県 第17回全国高等学校ARDF競技大会
- ~~~~~8月~~~~~
- 23日 北陸地方 北陸地方ARDF競技大会2020石川

1 エリア

関東地方

東京都

第2回ハムらde無線フェア

日時 4月19日(日)9:45開会式(予定) 10:00～16:00(展示は15:00頃まで)

場所 羽村市生涯学習センターゆとろぎ 〒205-0003 東京都羽村市緑ヶ丘1-11-5

交通 JR青梅線羽村駅東口から徒歩で約8分 ※施設周辺に有料駐車場有

内容 ○誰でも参加可・無料 ○メーカーの無線機器展示や特別セミナーでは日本ドローン無線協会(JDRI)戸澤会長による「ドローンと無線」、David氏の「日米のハム情報」予定 ○各ジャンル別セミナー ○JJIROE中村春香さん率いるバンド「Haruka with Cherry Spice」によるベンチャーズ曲や演歌曲をエレキギター特別演奏 ○ライセンスフリー等も一緒になって、電波でつながる遊びと学びの集い ○クラブ紹介 ○アイボール情報交流会 ○不用品・不要中古品交換ジャンク市(12時頃まで) ○ニューカマーやビギナー相談コーナー ○記念局運用(従事者免許証必ず持参) ○地域の羽村市等紹介コーナー等含めた当支部共催の無線フェアを開催 ○QSLカードのJARLビューローへの転送受付、お試し入会・新規・継続手続受付等 ※4月18日(土)14時からは「災害に強いアマチュア無線」をテーマに無料セミナーと無線機器等展示が開催され、2日間連続の羽村で無線フェアになります

問合せ先 東京都事務局 仙石康信JA1MUY Eメール

ル:jalmuy@jarl.com
※詳細は支部HP参照

第42回東京コンテスト

※変更点:電子ログ提出先
日時 5月3日(日/祝) 09:00～15:00JST
参加資格 国内アマチュア局(移動運用する局も含む)、SWL ※社団局・特別局・特別記念局(以下「社団局等」という)は除く
使用周波数帯 ○電信:21MHz～144MHz帯 ○電話:21MHz～144MHz帯 ※JARLコンテスト使用周波数帯による
参加部門・種目・コード

部門	種目	都内局		都外局	
		一般	ヤング	一般	ヤング
電信	オールバンド	1CA		2CA	
	21MHzバンド	1C21		2C21	
	28MHzバンド	1C28		2C28	
	50MHzバンド	1C50		2C50	
	144MHzバンド	1C144		2C144	
電信電話	オールバンド	1XA	1YA	2XA	2YA
	21MHzバンド	1X21	1Y21	2X21	2Y21
	28MHzバンド	1X28	1Y28	2X28	2Y28
	50MHzバンド	1X50	1Y50	2X50	2Y50
	144MHzバンド	1X144	1Y144	2X144	2Y144
	SWL	1XSWL	1YSWL	2XSWL	2YSWL

注1)電信電話部門は電話のみによる場合も含む 注2)SWLの種目はオールバンド・シングルバンドの区別をしない 注3)ヤング部門の局のオペレータはコンテスト開催当日現在の年齢18才以下とし、ゲストオペ、

地方だより記事の掲載について

- コンテスト規約の中で、電波法のように当然守らなければならない事柄のほか、掲載している規約の違反による失格事項などについては、省略しています。
- 各行事の開催報告などは編集の都合上、割愛させていただいている場合があります。あらかじめご了承ください。

JARL主催コンテスト使用周波数帯

●各地方コンテストの使用周波数帯の参考として、ご利用ください。

周波数帯	電信
3.5 MHz帯	3.510～3.530
7 MHz帯	7.010～7.040
14 MHz帯	14.050～14.080
21 MHz帯	21.050～21.080
28 MHz帯	28.050～28.080
50 MHz帯	50.250～50.300
144 MHz帯	144.050～144.090
430 MHz帯	430.050～430.090

周波数帯	電話
3.5 MHz帯	AM/SSB 3.535～3.570
7 MHz帯	AM/SSB 7.060～7.140
14 MHz帯	AM/SSB 14.250～14.300
21 MHz帯	AM/SSB 21.350～21.450
28 MHz帯	AM/SSB 28.600～28.850
	FM 29.200～29.300
50 MHz帯	AM/SSB 50.300～51.000
	FM 51.000～52.000
144 MHz帯	AM/SSB 144.250～144.500
	FM 144.750～145.600
430 MHz帯	AM/SSB 430.250～430.700
	FM 432.100～434.000

※1200 MHz帯以上の周波数帯については総務省告示の「アマチュア業務に使用する電波の型式及び周波数の使用区別」によるものとする。

マルチオペでの運用はできないが、青少年の育成という観点を考慮してベテランが付いてのアシストは可。開局年数を問わない。サマリーシートの意見欄に、オペレータの年齢を明記 ※明記なき場合は、一般部門へのエントリー

呼出 ○電信「CQ TK TEST」 ○電話「CQ トウキョウ コンテスト」

コンテストナンバー ○都内局：シグナルレポートRS (T) + 自局の運用地点を示す市区町村ナンバー ○都外局：シグナルレポートRS (T) + 自局の運用地点を示す道府県ナンバー 例1) 相手局のRS (T) が59 (9)、自局の運用場所が町田市の場合のコンテストナンバーは59 (9) 010 例2) 自局の運用場所が山梨県の場合は59 (9) 17 ○都外局同士の交信も有効

禁止事項 ○クロスバンドによる交信 ○2波以上の電波(バンドの異なる場合も含む)の同時発射 ○コンテスト中の運用場所変更

得点・マルチプレイヤー [アマチュア局] ○得点：完全な交信で相手局が都内局2点、都外局1点 ○マルチプレイヤー：各バンドで交信した異なる都内の市区町村と道府県数 [SWL] ○得点：完全な交信をした都内局を受信2点、都外局1点 ○マルチプレイヤー：各バンドで受信した異なる都内の市区町村と道府県数注1) 同一バンド内における重複交信は、電波型式が異なっても得点やマルチにはならない 注2) SWLは、注1)の交信を受信と読みかえる 注3) アマチュア局は交信した局の中に社団局等が含まれる場合この交信を得点に計上してよい 注4) SWLは受信した個人局の交信相手に社団局等が含まれる場合この受信を得点に計上してよいが、逆に社団局等が他の局と交信しているのを受信して得点に計上することはできない

総得点 ○オールバンド：各バンドで得た得点の和×各バンドで得たマルチプレイヤーの和 ○シングルバンド：当該バンドで得た得点×当該バンドで得たマルチプレイヤーの和

都内JARL登録クラブの得点、順位 都内JARL登録クラブの構成員(個人局)から申告された総得点をクラブごとに計上し、順位を決定し3位まで表彰 ※サマリーシートのクラブ対抗欄の登録クラブ番号を正確に記入し、クラブ名等のみの場合は対象としない

賞 ○各部門、種目の書類提出局数に応じて賞状 ※入賞者はJARL会員 ○都内局は各種目の3位まで ○都外局は各エリアの参加数に応じ、10局以下：1位まで、11局以上20局以下：2位まで、21局以上：3位まで ○JARL NEWS発表後に賞状を直接本人に郵送。各アワードも同様

書類提出 [紙ログ] ○JARL制定のサマリーシート・ログシート、またはこれと同形式(A4サイズ厳守) ○参加局は、全部門を通じて1つの種目のみにサマリーシート・ログシートを提出 ○サマリーシートに「コンテスト名称」「参加部門・種目コード」「コールサイン」などを記入 ○提出先：〒166-0012 東京都杉並区和田1-44-8 可見長英 [電子ログ(Eメール)] ○提出先：tokyo-contest@contest.jarl-tokyo.org ○形式はJARL形式に準じるが、原則JARLコンテスト電子ログ・サマリーシート作成ページのVERSION=R1.0、全文をメール本文に貼付けて送信(参考：

VERSION=R1.0 支部HP コンテスト規約東京都支部主催コンテストログ・サマリー提出用ツールの項) ○Eメールのsubject(主題：タイトル)は、提出局のコールサイン(例：JA1*** /1 など) ○JARL形式に準じない申請書は不可とし、申請書を添付ファイルで提出したものはウイルス対策等に鑑み、書類不備扱い ○自動返信による書類受付の返信メールを送信した際、書類のフォーマット、記載内容に関しての不備の有無までは示していないので留意 ○サマリー・ログシートにマルチ、得点は必ず記載 ※記載のないものは書類不備扱い ○電子ログの受付に関し、システム上の問題等によりメールの再送信もしくは郵送での提出をお願いすることがあり、システム上の問題が発生した場合に、やむを得ず電子ログの受付を中止する場合がある ※予めHP上で告知 ○社団局等は参加資格がないため書類提出不可

締切日 5月31日(日) 必着

発表 入賞者はJARL NEWS、地方コンテスト結果で発表し、全参加者の成績は支部HP (<https://www.jarl-tokyo.org/wp2/>) で発表 ※発表の順序は前後することがある

その他 前記以外のルールは原則としてJARLコンテスト規約に準じる

【市区町村島ナンバー】 002八王子市 003立川市 004武蔵野市 005三鷹市 006青梅市 007府中市 008昭島市 009調布市 010町田市 011小金井市 012小平市 013日野市 014東村山市 015国分寺市 016国立市 019福生市 020狛江市 021東大和市 022清瀬市 023東久留米市 024武蔵村山市 025多摩市 026稲城市 028羽村市 029あきる野市 030西東京市 101千代田区 102中央区 103港区 104新宿区 105文京区 106台東区 107墨田区 108江東区 109品川区 110目黒区 111大田区 112世田谷 113渋谷区 114中野区 115杉並区 116豊島区 117北区 118荒川区 119板橋区 120練馬区 121足立区 122葛飾区 123江戸川区 201瑞穂町 202日の出町 203檜原村 204奥多摩町 401大島町 402利島村 403新島村 404神津島村 411三宅村 412御蔵島村 421八丈町 422青ヶ島村 431小笠原村

【東京コンテストアワード】 ○「6 Hours Worked Tokyo 全市賞」、「同全区賞」「同全郡・島賞」を、本コンテスト時間内に全市(002~030)、全区(101~123)、全郡・島(201~204の4マルチプレイヤーと401~431のうちの1マルチプレイヤー計5マルチプレイヤー)とそれぞれ完全な交信が成立した局に発行。シングルバンド、マルチバンドの制限はない。特記なし ○申請先はコンテスト関係書類提出先と同じ ○申請方法：サマリーシート下部(意見欄)に「アワードを希望する旨」「全市賞」「全区賞」「全郡・島賞」アワードの種別を明記。返信用切手と封筒は不要 ※参加証はJARLビューローの業務軽減のため廃止

東京都支部登録クラブ代表者会議

日時 6月6日(土) 14:00~16:30頃まで

場所 国立オリンピック記念青少年総合センター会議室 〒151-0052 東京都渋谷区代々木神園町3番1号 <http://nyc.niye.go.jp//category/access/>

内容(予定) ○各登録クラブ等の活動状況 ○東京都支部行事等他
出欠席・問合せ等 東京都支部長 澤田倉吉 Eメール : jg1dkj@jarl.com 宛

Report ニューイヤー交流会セミナー開催

令和2年2月8日



令和2年2月9日



当支部では「ハンディ機等で世界のハムと語ろう」をテーマに参加者との交流を目的としたセミナーを令和2年2月8日(土)、9日(日)の2日間、東京都渋谷区にある国立オリンピック記念青少年総合センターにて開催しました。

1日目の第1部は、JF1CXH岡野俊郎氏の講師による「D-STARリフレクター講座」で、岡野氏はリフレクター(Reflector)が日本で紹介され始めた頃から普及に努められている方々のおひとりです。講座では「Reflector」の紹介と説明。昨今話題になっている「Peanut」「Nora Gateway」等の次々出てくる用語に参加者はくぎ付けになっていました。

第2部は、減災アドバイザーの菊池顕太郎氏による防災の準備と被災時の対応についての講座で、菊池氏は(株)東急ハンズに勤められた間にアイデアグッズを数々ヒットさせた方としても有名です。講座では防災に対する考え方と実際に被災した際に、人はどうなるか・どうするかを深く考えさせられました。

夕刻からは交流会が賑やかに開催され、会場のおいしい料理が参加者同士の楽しい時間に華を添えていました。

翌2日目は、前日がD-STARデジタル系でしたので、この日は月刊CQ誌の「Let's enjoy C4FM & WIRES」などを担当されているJKIMVF高田栄一氏にYAESUのC4FMデジタル系WIRES-Xについての知識をお話しい

たきました。

Report 東京都支部大会開催



去る2月9日(日)午後1時30分から東京都渋谷区にある国立オリンピック記念青少年総合センターにて約150名のご参加をいただき東京都支部大会を開催しました。

過去の東京都支部大会の会場と異なる国立の教育施設である当センターの会場をお借りし当日午後のみコンパクトな支部大会を試みました。

司会は、JH1CBX MASACOさんをお願いして、来賓ご挨拶をJARD坂本専務、高尾会長、島田関東地方本部長にいただき、支部行事等報告では、先に行われた登録クラブ10月オンエアー月間についてJH1ASG中村さんによるQSLカード作成の説明、続いて新企画のマラソンコンテストの概要と第24回東京CWコンテスト・第39回東京UHFコンテスト都内1位の方へ賞状が渡されました。

高尾JARL会長による「JARLの現状と取り組みについて」の講演、特別講演では、「三浦電波監視センターの役割について」を総務省関東総合通信局電波監視部斎藤秀雄様にご講演をいただきました。

記念セミナーでは「ハンディ無線機等で世界のハムと語ろう」と題して月刊CQ誌エディターのJKIMVF高田栄一様にWIRESを使った通信について講演をいただいた。

抽選会では、景品のハンディ無線機がMASACOさんとじゃんけんで勝った方へ贈呈され、その他各種景品は参加者へもれなく渡され支部大会記念のお土産となりました。

神奈川県

第49回オール神奈川コンテスト

日時・使用周波数 6月6日(土) ○(ステージ1) 15:00~18:00 (JST): 14/21/28/50/1200/2400MHz 帯
○(ステージ2) 21:00~24:00 (JST): 1.9/3.5/7/144/430MHz帯 ※電信(CW)、電話(AM, SSB, FM)による各バンドにおける使用周波数帯は、下記のとおり
○3.5MHz~430MHzの各バンドはJARL主催コンテスト使用周波数帯 ○1.9MHz, 1200MHz, 2400MHzバンドは総務省告示の「アマチュア業務に使用する電波の型式及び周波数の使用区分」による ○A2A電波による電信はAM/SSB, F2A電波による電信はFMの使用周波数帯を用いる ○各バンドの呼出周波数, デジタル呼出周波数, 非常通信周波数は使用しない

参加資格 日本国内のアマチュア無線局

交信相手局 ○神奈川県内で運用する局(県内局): 全ての国内局 ○神奈川県外で運用する局(県外局): 神奈川県内で運用する局(県内局)

呼出 [県内局]○電信「CQ KN TEST」○電話「CQ 神奈川コンテスト」 [県外局]○電信「CQ KNX TEST」○電話「CQ 神奈川コンテスト こちらは県外局」

コンテストナンバー ○県内局：RST符号による相手局のシグナルレポート+自局の運用場所を示す神奈川県内の市・郡・区ナンバー ○県外局：RST符号による相手局のシグナルレポート+自局の運用場所を示す都・府・県（小笠原を含む）、北海道の地域ナンバー例）横浜市中央区から運用の県内局（電話）：59110104

部門種目・コードナンバー

部門種目		コードナンバー			
		電 信		電信電話(注1)	
		県内局	県外局	県内局	県外局
シングルオペ (注2)	オールバンド (注3)	KCSA	XCSA	KXSA	XXSA
	ジュニア・ オールバンド (注4, 5)	KCSJA	XCSJA	KXSJA	XXSJA
	HF-Low (1.9/3.5/7MHz) バンド(注3, 6)	KCSHL	XCSHL	KXSHL	XXSHL
	HF-High (14/21/28MHz) バンド(注3, 6)	KCSHH	XCSHH	KXSHH	XXSHH
	50MHzバンド	KCS50	XCS50	KXS50	XXS50
	144MHzバンド	KCSI44	XCSI44	KXS144	XXS144
	430MHzバンド	KCS430	XCS430	KXS430	XXS430
マルチ オペ (注2)	UHF (1200/2400MHz) バンド(注3, 6)	KCSU	XCSU	KXSU	XXSU
	オールバンド (注5)	KCMA	XCMA	KXMA	XXMA
	ジュニア・ オールバンド (注4, 5)	KCMJA	XCMJA	KXMJA	XXMJA

注1) 電信電話部門は、電信・電話または電話の交信による 注2) シングルオペは、コンテスト中の運用に関わる全てを一人とするものとし、それ以外はマルチオペ ※単一オペレーターによる運用での社団局からのシングルオペ参加、ゲストオペレーター制度を活用した個人局からのマルチオペ参加も可 注3) シングルオペ・オールバンド種目には、2つ以上の周波数帯を使用した場合のみエントリーできる 例) 3.5MHzバンドと7MHzバンドの2つを使用した場合には、オールバンド種目もしくはHF-Low (1.9/3.5/7MHz) バンド種目のいずれか一方を選択してエントリー可 注4) ジュニアには、運用するオペレーターの年齢が18歳以下(マルチオペ・ジュニアでは、全てのオペレーターの年齢が18歳以下)の場合のみエントリーできる 注5) シングルオペ・ジュニア、マルチオペは、使用する周波数帯の数に関係なくオールバンド種目にエントリーしたもののみならず 注6) HF-Low (1.9/3.5/7MHz) バンド、HF-High (14/21/28MHz) バンド、UHF (1200/2400MHz) バンドの各種目には、それぞれの種目に含まれる1つ以上の周波数帯を使用した場合にエントリーできる

得点 ○コンテストナンバー交換が完全にされた交信を1点 ※県外局同士の交信は無効(0点)とし、同一バンド内における同一局との重複交信は、たとえ電波型式が異なっていた場合であっても、1交信のみを得点とし、それ以外は0点

マルチプライヤー ○県内局：相手局の運用場所を示す異なる神奈川県内の市・郡・区、神奈川県以外の異なる

る都・府・県(小笠原を含む)、北海道の地域 ○県外局：相手局の運用場所を示す異なる神奈川県内の市・郡・区

総得点 各バンドにおける得点の和×各バンドで得たマルチプライヤー数の和

禁止事項 ○クロスバンド、クロスモード、レピータによる交信 ○同一時間帯ステージ中における運用場所の変更、同一時間帯ステージ中におけるマルチオペ局の複数地点からの運用 ※例えば時間帯ステージ1での運用をある一箇所の移動先地点からし、時間帯ステージ2での運用を常置場所あるいはもう一箇所の別の移動先地点からすることは可。このような場合、送信する自局の運用場所を示すコンテストナンバーが時間帯ステージごとに異なることも可。ただし、運用場所の一方が神奈川県内、他方が神奈川県外となる場合は、いずれか一方の地点における運用のみを選択し、参加部門が県内局もしくは県外局のどちらか一方となる審査対象書類を提出 ○シングルオペ局の同一または異なるバンドにおける2波以上の電波の同時発射 ○マルチオペ局の同一バンドにおける2波以上の電波の同時発射 ○同一オペレーターが複数参加局間で掛け持ち運用(ゲストオペレーターなどによる複数シングルオペ局間、シングルオペ局とマルチオペ局間、複数のマルチオペ局間などでの運用)をした場合における当該複数参加局それぞれからの審査対象書類の提出 ※このような運用をした場合、同一オペレーターが複数の審査対象参加局の間で重複しないように、いずれか1つの参加局からのみ審査対象書類を提出することは可

書類提出 ○JARL制定のサマリーシート、ログシート(または同形式)を使用 ○Eメールによる書類提出：JARL主催コンテストにおける所定の様式(JARL推奨旧フォーマット(R1.0))で作成したデータをテキストメールの本文または添付ファイル(テキスト形式ファイルに限る)として提出先メールアドレスに送信 ※紙によるサマリー・ログ書類は、手書きのもののみを受付 ○全部門、時間帯ステージ1とステージ2を通じて、いずれか1つの種目のみに書類を提出(ステージ1とステージ2からそれぞれ1種目ずつの書類を提出することは不可) またオールバンド種目に参加の場合は、ステージ1とステージ2の両方のログを合わせた書類を1つだけ提出(どちらか一方のステージのみの書類によるオールバンド種目参加も可) ※審査の対象とすることを希望しない交信は、チェックログとしての提出を推奨。チェックログ扱いを希望する交信は、ログシートにおいて当該交信の得点を0点とし、サマリーシートの意見欄等に希望するチェックログ扱い内容などを明記 ○常置場所以外に移動して運用した局は、運用場所を書類に明記 ○ジュニアの場合はオペレーターの年齢を、マルチオペの場合はオペレーターリスト(無線従事者資格、コールサインもしくは氏名)をサマリーシートの意見欄等に明記 ○交信局数が100局を超える紙ログ書類を郵送で提出する場合は、重複する交信、マルチプライヤーの確認書類(チェックリスト)を添付(様式不問)

締切 6月27日(土)電子メール着または消印有効

提出先 [Eメール] ○送信先メールアドレス：

jarlkncontest+akn@gmail.com ○送付可能な形式：JARL形式に準じるテキスト形式 ○送信件(Subject)名：エントリーするコールサイン(例：JA9SCB/1) ○紙ログ書類郵送：〒244-0842 神奈川県横浜市栄区飯島町2070-16 今村明弘(JA9SCB)宛(封筒には、オール神奈川コンテストログ在中と朱書き)

賞 ○全ての部門種目ごとに、参加局数が10局以下の場合1位、11局から20局以下の場合2位まで、21局以上の場合3位までの順位の局をハムの集いで表彰し、賞状を贈る ○ハムの集いに出席されなかった表彰対象局には、集い終了後に賞状を郵送

失格事項 ○本規約に定める事項に違反した場合 ○その他JARL主催コンテスト規約に準じる失格事項

結果発表 ○支部HP (<http://www.jarlkn.info/>), JARL NEWSなどで公表 ○Eメールによる書類提出者には、電子メールで結果表(案)をお知らせ ○返信先を明記して84円切手を貼った封筒(SASE)を同封された郵送による紙ログ書類提出者には、郵送で結果表を返信

その他 ○本規約に明記なき事項についてはJARL主催コンテスト規約に準じる

問合せ ○本規約に対する問合せは、書類提出先まで封書(返信先を明記して切手を貼った封筒(SASE)を同封)もしくは、問合せ先メールアドレス(jarlkncontest+request@gmail.com)まで

【神奈川県内の市郡区ナンバー一覧】 [横浜市内の区] 鶴見区110101 神奈川区110102 西区110103 中区110104 南区110105 保土ヶ谷区110106 磯子区110107 金沢区110108 港北区110109 戸塚区110110 港南区110111 旭区110112 緑区110113 瀬谷区110114 栄区110115 泉区110116 青葉区110117 都筑区110118 [川崎市内の区] 川崎区110301 幸区110302 中原区110303 高津区110304 多摩区110305 宮前区110306 麻生区110307 [相模原市内の区] 緑区111001 中央区111002 南区111003 [神奈川県内の市] 横須賀市1102 平塚市1104 鎌倉市1105 藤沢市1106 小田原市1107 茅ヶ崎市1108 逗子市1109 三浦市1111 秦野市1112 厚木市1113 大和市1114 伊勢原市1115 海老名市1116 座間市1117 南足柄市1118 綾瀬市1119 [神奈川県内の郡] 愛甲郡11001 足柄上郡11002 足柄下郡11003 高座郡11004 中郡11006 三浦郡11007 ※横浜市、川崎市、相模原市の各市は、区ナンバーを使用 ※都府県(小笠原を含む)・北海道の地域ナンバーは、「JARLコンテストで使用する都府県・北海道の地域・番号表」に準じる ※北海道札幌市は石狩地域の区域、沖ノ鳥島、南鳥島、硫黄島は小笠原の区域に含まれる

技術講習会「電波障害対応コンモンモードフィルター製作とVNWAでの測定」

日時 7月12日(日)10:00~15:30(予定)
場所 県立かながわ労働プラザ(レプラザ)1階オープンスペース <http://www.zai-roudoufukushi-kanagawa.or.jp/~l-plaza/> 〒231-0061 横浜市中区寿町1-4 ☎045-633-5413
交通 JR根岸線石川町駅下車徒歩3分 ※駐車場は限

られた台数。できるだけ、電車・バスを利用ください
講師 JARL神奈川県支部技術指導委員長 JH10HZ 片倉由一

定員 先着順に30名を予定

会費 ○JARL会員：3,500円 ○JARL非会員：4,000円 ※昼食費、材料費含む

内容 電波障害とコンモンモードフィルターの製作を題材にした講習。実際の電波障害について学習した後、電波障害に対応する1kw対応コンモンモードフィルターを製作、自分の製作したコンモンモードフィルターの性能をVNWA(ベクトルネットワークアナライザー)で測定を実施。自分で製作したコンモンモードフィルターの性能・効果等が目で見えて分かる講習会です。

時間があれば、自作アンテナや小型のメーカー製アンテナをVNWAを使用して測定、アンテナの特性等を測定していただくことも可能。あなたもコンモンモードフィルターの製作にチャレンジしてみませんか。ベテランの講師がコンモンモードフィルターをキットとして用意。昨年の講習会で作成したものよりグレードアップしたキットとなっており、どなたでもメーカー製に匹敵(試作品の実測ではメーカー製のものより優れた結果が出ています)するコンモンモードフィルターを簡単に製作することができます

申込み方法 例年、受付開始から数日で定員となっておりますので、受付開始は6月1日(月)からとし、それ以前の消印・タイムスタンプは無効 ○往復ハガキ：①「コンモンモードフィルター製作・測定講習会参加希望」と明記 ②住所、③氏名、④電話番号、⑤コールサイン(お持ちの方)を記入のうえ、下記住所まで郵送 ※折返し受講証を発送 〒225-0005 横浜市青葉区荏子田2-6-6 森野富士彦 ☎045-902-6416 ○Eメール：件名「コンモンモードフィルター製作・測定講習会参加希望」とし、上記②から⑤の項目を、JFINEF 森野：jflnef@jarl.comまで。折り返し参加確認をメールで返信

締切 往復ハガキ、Eメールとも6月30日(火)必着

Report かながわアマチュア無線非常通信ネットワーク「ロールコール終わる」

令和1年12月1日(日)に恒例となりました「かながわアマチュア無線非常通信ネットワーク」のロールコールが実施されました。延べ交信局数は、118局と神奈川県内、隣接地域の多数のアマチュア無線局多数の参加をいただきました。

また、今回も県内登録クラブのオペレーション技術向上を図ることを目的に、JARL神奈川県支部所属の登録クラブからキー局を公募したところ、神奈川県海老名市内のコミュニティFM放送局(FMカオン)の登録クラブFMカオン・アマチュア無線クラブ(JQIZGH、代表者JQINDH佐藤修一氏)・川崎市内を中心に活動する登録クラブ川崎市アマチュア無線情報ネットワーク(JOIZBX、代表者JJICNI榎本 武氏)、茅ヶ崎市を中心に活動する登録クラブ茅ヶ崎セフティコミュニティアマチュア無線クラブ(JQIZQQ、代表者JAIDIR中野久夫氏)の3クラブから申し出をいただき、それぞれ海老名市・川崎市・茅ヶ崎市から運用しました。2時間30分という制約された時間の中ではありましたが、ハンディー機等の移

動局を重点にスムーズなオペレーションをしていただき、多くの方にチェックインしていただくことができました。

毎年12月第1日曜日に実施しておりますので、多数の方のチェックインをお願いします。

Report 新年アイボールパーティ終わる



令和2年1月19日(日)、恒例の新年アイボールパーティが神奈川県立かながわ労働プラザ(Lプラザ)レストラン「味采」において、JG1KTC高尾JARL会長、JA1NVF吉沼JARL理事、JA1HQG有坂JARL顧問を来賓にお招きし、県内のアマチュア無線家73名に参加をいただき盛大に開催されました。

支部役員JO1VSE三枝さんの司会により、JF1NEF森野神奈川県支部長の挨拶の後、JARL高尾会長・吉沼理事・JARL有坂顧問からご祝辞をいただいたあと、参加者の中で唯一の2文字コール出席者JA8YK猪股昭OMの乾杯で幕を開けました。参加会員相互の歓談に花が咲き、来賓の方にも有意義なアイボールをさせていただくことができました。その後、皆様お待ちかねのビンゴゲームや無線機器のオークションで大いに盛り上がりました。最後には支部恒例の参加者全員に当たる抽選会がおこなわれ、ハンディー機をはじめ、JARL会長賞、JARL吉沼理事賞等商品多数が授与されました。最後の締めは、群馬県からお父さんと2人で参加してくれた高校1年生のJH1VDM渡辺大地君の一本締めで盛会のうちに幕となりました。

参加者の年齢構成は高齢化社会の縮図ではありましたが、中には高校生や20代のYLさんの参加もいただき、新しい年の初めに、今年も楽しく安全にアマチュア無線を楽しめることを確かめ合う等有意義な1日でした。神奈川県内のアマチュア無線家の賀詞交換会ともいえるこの催し、来年は、1月第3日曜日の令和3年1月17日に開催予定ですので、多数の方のご参加をお願いします。

Report 技術講習会「CWQSO実践講座」終わる



2月23日(日)神奈川県立かながわ労働プラザ(Lプラザ)において、CWQSO実践講座が開催されました。

本講座は、毎年、県内外から多くの方が参加される人気の講座で、今年も「CWヒヨコクラブ(略称CHC)」の全面的なバックアップをいただいて開催されました。

CHCは、過去に本講座を受講した方のOB有志が中心となって活動する任意団体で、CW技術の向上を目指してロールコールや各種技術講習会・情報交換等がおこなわれるなど、名実ともに充実したCWに特化したアクティブなクラブです。今年はお天気の影響もなく、遠くは栃木県や静岡県をはじめとして、埼玉県、千葉県、東京都等の関東各県や県内から、受講者は23名となりました。

当日は、支部役員のJAIGQC高崎OMを講師に、CHCヒヨコクラブからも11名の応援をいただき、電鍵の扱い方からコンテスト交信の秘蔵テクニックまで、CWの奥義を受講、参加者同士の模擬交信でお互いの腕を磨くことができました。これまでCW交信がうまくできなかった参加者も、生まれ変わったように上達するなど、効果は絶大で、4年前から始まった、講習会終了後の当日午後9時からの講習会参加者を対象としたCWによる臨時ロールコールも実施され、多くの方がCWデビューを果たすなど、参加者皆さんの今後の活躍が期待されます。例年この時期にCW講習会を実施しておりますので、来年も多くの方のご参加をお願いします。

千葉県

フィールドミーティング2020

支部では第2回フィールドミーティングを実施します

日時 5月23日(土)10:00~15:00

場所 長生村文化会館 千葉県長生郡長生村岩沼2119

アクセス JR外房線八積駅徒歩5分(JR千葉駅より各駅

停車にて43分) 駐車場200台

内容 ○フリーマーケット形式の不用品交換会 ○初心者対象FOXハンティング体験会 ○JARL会員新規・継続受付 ○QSLカード転送受付 ○疑似FOXハンティング体験

その他詳細は決まり次第、支部HPにて発表(URL: <http://www.jarl-chiba.info>)

Report ちばハムの集い2020盛大に開催



ちばハムの集い2020が2月16日に千葉県四街道市にある四街道文化センターホールにて開催されました。

当日は、小雨の降る中、高尾会長、島田関東地方本部長、澤田東京都支部長、森野神奈川県支部長、矢口茨城県支部長、水田かおり広報大使を来賓に迎え、講演、公開運用、不要品交換コーナー、電子申請普及促進活動、メーカーによる展示、QSLカード転送受付、記念撮影、登録クラブによる展示コーナー、アマチュア無線を始めた方の相談コーナー、ヤングハム紹介、JARL会員新

規・継続受付、支部事業報告・事業計画・会計報告、非常通信訓練報告、第34回オール千葉コンテスト表彰式、お楽しみ抽選会をおこない、450名以上のアマチュア無線家や一般の方のご来場をいただき無事終了しました。次年度の「ちばハムの集い2021」は、2021年2月21日場所は同じ四街道文化センターを予定しています。

埼玉県

技術講習会「ARDF3.5MHz受信機作製」

日時 5月24日(日)9:45~16:00
場所 松山市民活動センター 工作室 埼玉県東松山市松本1-9-35 ☎0493-23-9311
内容 ○午前:ARDF概要説明・受信機作製 ○午後:受信機の取扱や探索方法の説明・実技 ※ハンダコテ・ニッパ・ドライバー等工具は持参
参加費 3,000円(受信機kit代) 当日徴収
定員 30名
申込受付 ○5月8日までに事務局へ、コールサイン、氏名、住所、電話番号をEメール(saitamaken@jarl.com)まで

登録クラブ代表者・役員・ 監査指導員合同会議

開催日 7月12日(日)
※詳細は、決まり次第、支部HPでお知らせします

茨城県

支部役員・監査指導委員・クラブ代表者会議

日時 4月12日(日)13:30~16:00
場所 新治地区公民館(新治地区コミュニティーセンター) 土浦市藤沢982番地 ☎029-862-2673
日時 6月28日(日)13:30~16:00
場所 四中地区公民館(四中地区コミュニティーセンター) 土浦市国分町11番5号 ☎029-824-9330

第41回オール茨城コンテスト

【第1部】

参加資格 JARL主催の第62回ALLJAコンテストに茨城県内局(県内への移動局も参加可能)として参加したアマチュア局(SWLも含む)がエントリー可
部門・クラス ALLJAコンテストの部門・クラスに準じる ※H・M・Pの区別はありません

【第2部】

参加資格 JARL主催の第50回6m & downコンテストに茨城県内局(県内への移動局も参加可能)として参加したアマチュア局(SWLも含む)がエントリー可
部門・クラス 6m & downコンテストの部門・クラスに準じる ※H・M・Pの区別はありません

参加方法 ○各コンテストに参加し期日までにJARLへエントリーして、その内容をお知らせください ○必ず部門・クラス・コールサイン・得点・氏名・住所・連絡先をお知らせください ※茨城県内への移動局は移動地を必ず明記

締切 ○第1部:6月1日(月) ○第2部:8月1日(土)
賞 各コンテストの結果をもとに入賞者を決定、JARL NEWSに発表、支部HPに掲載

提出先 ○Eメール:jflwex@jarl.com ○ハガキ:
〒319-3702 茨城県久慈郡大子町町付3035 本田 理

2020いばらきハムの集い

日時 7月26日(日)10:00~16:00
場所 土浦市民会館 茨城県土浦市東真鍋町2-6 ☎029-822-8891
内容 ○会場内:支部報告・表彰・意見交換・抽選会・講演・クラブ展示・業者展示・ジャンク市 ○会場外:ジャンク市・フリーマーケット・交流会等
出展希望・問合わせ・申込等 ○支部HP「ハムの集い」
○Eメール jaliao@jarl.com ○〒300-0833 土浦市小岩田西1-6-3 矢口 蕃

Report 茨城県支部第39回賀詞交歓会開催



2020年1月11日、大子町の「リバーサイド奥久慈 福寿社」にて毎年恒例の賀詞交歓会を開催しました。49名の参加があり歓談、抽選会等で多いに盛り上がりました。場を移した2次会でも夜遅くまで盛り上がっていました。

群馬県

2020群馬県支部ARDF競技大会

【145MHz帯部門】

日時 5月9日(土)受付11:30~12:00
場所 群馬県藤岡市庚申山公園予定
競技部門 145MHz帯部門
参加費 2,000円 23歳未満半額
締切 5月2日(土)

【スプリント部門】

日時 5月10日(日)受付9:30~10:00
場所 群馬県藤岡市庚申山公園予定
競技部門 スプリント競技部門
参加費 2,000円 23歳未満半額
締切 5月2日(土)
申込方法 申込書・誓約書を添付 Eメールで7m3rmd@jarl.com 清水 茂 宛

参加費振込先 ○ゆうちょ銀行 記号:10470 口座番号:5175651 名義人:群馬ARDFクラブ ○銀行等から振込 ゆうちょ銀行 店名:〇四八(ゼロヨンハチ) 店番:048 種目:普通 口座番号:0517565 名義人:群馬ARDFクラブ ※保険料含む ※参加費はお返しできません ※昼食なし

問合せ先 7m3rmd@jarl.com 清水 茂
審判員募集 問合せ先まで連絡ください

第48回(2020年)オール群馬コンテスト

※ログ受領の確認をHPに受付局リストを掲載する方法に変更。受付の返信メールはしませんので注意 ※電子ログの提出は、JARL旧様式(R1.0サマリーシート)にバンド別スコアが記載されたものでの提出をお願いします ※活性化を図るため移動運用予定市町村の公表をします ※オール群馬コンテストアワードを発行します

日時 5月16日(土)20:00~24:00, 17日(日)06:00~12:00

参加資格 日本国内のアマチュア局・SWL

使用周波数帯 1.9~1200MHz帯(3.8/10/18/24MHz帯を除く) ※JARL主催コンテスト使用周波数帯 ※1.9MHzは1.9075~1.9125MHz ※1200MHzは総務省告示の「アマチュア業務に使用する電波の型式及び周波数の使用区別」による

参加部門・種目(コードナンバー)(別表) ※県内局は群馬県内で運用する局, 県外局は群馬県外で運用する局 ※社団部門以外はシングルオペに限る。社団局は社団部門以外への参加はできない

※1) 28MHz以下 ※2) 50MHz以上 ※3) 28MHz以下 ※4) 50MHz以上430MHz以下(1200MHzを除く) ※5) 電信, 電信電話の区別をしない ※6) 運用場所は1カ所とし運用範囲は直径500mの円内

呼出方法 ○電信・県内局「CQ GM TEST」・県外局「CQ GMO TEST」 ○電話「CQ オール群馬コンテスト」 ※県内局はコールサインの後に「群馬県」を明示

交信相手局 ○県内局: 県内局, 県外局 ○県外局: 県内局

コンテストナンバー ○群馬県内局: RS(T)+市町村ナンバー ○群馬県外局: RS(T)+都府県支庁ナンバー

QRP局 送信出力5W以下, 紙ログまたは電子ログサマリーシートに使用リグ, 出力を明記

ジュニア局 高校生以下, 紙ログまたは電子ログサマリーシートの「意見欄」に学年を記入

シニア局 70歳以上, 紙ログまたは電子ログサマリーシートの「意見欄」に年齢を記入

禁止事項 ○レピータによる交信 ○クロスバンドによる交信 ○コンテスト中の運用場所の変更 ※移動局かつシングルオペに限り運用開始時のマルチプライヤー内の運用場所の変更を認める。ただし常置場所での運用は禁止 ○シングルオペの同一または異なるバンドにおける2波以上の電波の同時発射 ○マルチオペの同一バンドにおける2波以上の電波の同時発射 ○社団部門以外はマルチオペでの参加はできない。社団局は社団部門以外には参加できない

得点 ○電信による完全な交信は2点, 電話による完全な交信は1点 ※同一バンド内における重複交信は電波型式が異なっても1交信のみ有効 ※電信電話部門に書類を提出した局で電信のみで交信した局は電信部門として, 電話のみで交信した局は電話部門として集計 ※マルチバンド部門に書類を提出した局でHF帯のみで交信した局はマルチバンドHF部門として, V・UHF帯のみで交信した局はマルチバンドV・UHF部門として集計 ○SWLは, 送信, 受信局のコールサイン並びに送信局の送出したナンバーの受信を電信の

(別表)参加部門・種目(コードナンバー)

部 門	種 目	コードナンバー	
		県内局	県外局
電 信	1.9MHz	1A1.9	2A1.9
	3.5MHz	1A3.5	2A3.5
	7MHz	1A7	2A7
	14MHz	1A14	2A14
	21MHz	1A21	2A21
	28MHz	1A28	2A28
	50MHz	1A50	2A50
	144MHz	1A144	2A144
	430MHz	1A430	2A430
	1200MHz	1A1200	2A1200
	マルチバンド	1D	2D
	マルチバンドHF(※1)	1E	2E
	マルチバンドV・UHF(※2)	1F	2F
	QRPHF(※3)	1QA	2QA
QRPV・UHF(※4)	1Q1A	2Q1A	
電 話	3.5MHz	1B3.5	2B3.5
	7MHz	1B7	2B7
	14MHz	1B14	2B14
	21MHz	1B21	2B21
	28MHz	1B28	2B28
	50MHz	1B50	2B50
	144MHz	1B144	2B144
	430MHz	1B430	2B430
	1200MHz	1B1200	2B1200
	マルチバンド	1G	2G
	マルチバンドHF(※1)	1H	2H
	マルチバンドV・UHF(※2)	1I	2I
	QRPHF(※3)	1QB	2QB
	QRPV・UHF(※4)	1Q1B	2Q1B
電信・電話	3.5MHz	1C3.5	2C3.5
	7MHz	1C7	2C7
	14MHz	1C14	2C14
	21MHz	1C21	2C21
	28MHz	1C28	2C28
	50MHz	1C50	2C50
	144MHz	1C144	2C144
	430MHz	1C430	2C430
	1200MHz	1C1200	2C1200
	マルチバンド	1J	2J
	マルチバンドHF(※1)	1K	2K
	マルチバンドV・UHF(※2)	1L	2L
	QRPHF(※3)	1QC	2QC
	QRPV・UHF(※4)	1Q1C	2Q1C
社団(※6)		1M	2M
ジュニア (高校生以下)	マルチバンドHF(※1)	1JN	2JN
	マルチバンドV・UHF(※2)	1JN1	2JN1
	社団マルチバンド	1JNC	2JNC
YL	マルチバンド	1YL	2YL
シニア (70歳以上)	マルチバンドHF(※1)	1SE	2SE
	マルチバンドV・UHF(※2)	1SE1	2SE2
SWL(※5)		1S	2S

場合2点, 電話の場合1点。同一バンド内の重複受信は電波型式が異なっても1受信のみ有効

マルチプライヤー ○群馬県内局(SWL): 都府県地域等, 群馬県内の市町村の数 ○群馬県外局(SWL): 群馬県内の市町村の数

総得点 シングルバンド: 該当バンドで得た得点×該当バンドで得たマルチの数 ○マルチバンド: 各バンドで得た得点の合計×各バンドで得たマルチ数の合計

紙ログ提出 ○JARL制定のログシートまたは同形式の

もの(A4判厳守)を使用 ○住所は正確に、郵便番号、電話番号を必ず記入 ○コンテストの名称は「第48回オール群馬コンテスト」と記入 ○参加部門及び種目は、コードナンバー欄に参加部門・種目のコードナンバー、名称欄に参加した部門・種目を記入 例)IC7, 県内7MHz電信電話 ○社団法人は、サマリーの意見欄に参加クラブ員の氏名、従事者資格を記入 ○移動した局は、サマリーの運用地欄に運用場所を記入 ○個人局で参加し、クラブ対抗に参加する局はサマリーの登録クラブ対抗欄に、登録クラブ番号、クラブ名称を記入(群馬県支部登録クラブでJARL会員が対象) ○交信局数が1バンド100局以上の局は、重複確認資料を提出(形式不問。電子ログで提出は省略可) ○締切:5月31日(日)消印有効 ○提出先:〒371-0852 前橋市総社町総社1355-3 相羽不二雄方 JARL群馬県支部 コンテスト係 ○ログを受付た局のコールサインをHP掲載。5日以内に掲載されない場合は問合せください

電子ログ提出 ○JARL制定旧様式で作成したもの(サマリーにバンド別スコアが記載されたものまたはコンテストログソフトなどで作成したテキスト形式のデータ(R1.0で出力したもの)をメールの本文欄に貼付けて送信 ※自作でのテキストデータはできるだけ項目を揃えてスペース区切りでお願いします(Tabキーで区切らない) ○各項目は、紙ログに準じて必要事項を間違いのないように入力(住所は正確に、郵便番号、電話番号、メールアドレスを必ず記入) ○メールの件名は、提出局のコールサイン,参加部門・種目のコードナンバー 例)JA1SVP IC7 ○締切:5月31日(日)24:00必着 ○送信先 agclog@gmail.com ○ログを受付けた局のコールサインをHPに掲載。3日以内に掲載されない場合問合せください ※従来のメールでの返信はしません

ログ作成例 提出書類・電子ログの作成・提出方法をWebページ(<http://www.001.upp.so-net.ne.jp/jalsvp/agc/index.html>)をご覧ください

失格 ○提出ログの不備、虚偽の報告があった場合 ○2部門以上への参加 ○締切後の到着 ○この規約に定める事項に違反した場合

賞 ○ログ提出者に「参加証」を発行 ○各種目とも、参加局数に応じて賞状(JARL会員のみ) ※順位の繰上げはしない ・参加局5局以下:1位のみ、6局から10局:2位まで、11局から20局:3位まで、21局から30局:4位まで、31局以上:5位まで ○県内外局ともに支部大会で渡します。取りに来られない方には、入賞者は郵送、参加証はJARLビューロー経由で後日発送 ※参加証発送対象者が80人に満たない場合は直接郵送

県内参加局特典 ○県内クラブ対抗(支部登録クラブ構成員の総得点)で最高得点のクラブに賞状、トロフィーを授与 ○県内局(県内部門参加者)で電信、電話、電信電話HF、電信電話V・UHF、マルチバンド部門それぞれ最高点の局に、楯(またはメダル)を授与

結果発表 支部HP、支部大会、JARL NEWS(入賞者のみ)で発表

問合せ JA1SVP 相羽不二雄 ☎027-253-6020 [Eメール]jalsvp@jarl.com

その他 ○提出された書類は返却しません ○当コンテストに関するすべての事項は、当コンテスト委員会の協議、決定が優先

お願い ○県内局の多数の参加をお願いします。1局でも交信した方は書類提出をお願いします ○チェックログ(交信の記録:相手局のコールサイン、周波数、モード、時間、コンテストナンバー)のみでも結構です。マルチバンドで交信し、シングルバンドで書類提出する方も、他のバンドのデータをチェックログとして提出していただくと正確なチェックができます ※特に上位入賞者のチェックに必要 ○移動運用される局はマナーを守って運用 ○活性化を図るため、支部HPで移動運用予定市町村を公表。公表を希望の方はコールサイン、移動運用予定市町村名をjalsvp@jarl.com まで

【群馬県市町村ナンバー】 ○市の部 前橋市1601 高崎市1602 桐生市1603 伊勢崎市1604 太田市1605 沼田市1606 館林市1607 渋川市1608 藤岡市1609 富岡市1610 安中市1611 みどり市612 ○町村の部 [吾妻郡]草津町16001B 高山村16001C 嬬恋村16001F 長野原町16001G 中之条町16001H 東吾妻町16001I [邑楽郡]板倉町16003A 邑楽町16003B 大泉町16003C 明和町16003D 千代田町6003E [甘楽郡]甘楽町16004A 下仁田町16004B 南牧村16004C [北群馬郡]吉岡町16005D 榛東村16005E [佐波郡]玉村町16007D [多野郡]上野村16009F 神流町16009G [利根郡]片品村16010A 川場村16010B 昭和村16010C みなかみ町16010I

オール群馬コンテストグランドスラム賞(第42回(2014年)コンテストから適用)

○HF 電信部門:1.9MHz~28MHz6バンドで1位入賞
○HF 電話部門:3.5MHz~28MHz 5バンドで1位入賞
○VU 電信部門:50MHz~1200MHz 4バンドで1位入賞
○VU 電話部門:50MHz~1200MHz 4バンドで1位入賞

費用 ○賞状のみ:500円 ○賞状、楯:3,000円
※受賞に該当する場合jalsvp@jarl.comへ連絡

【オール群馬コンテストアワード】

目的 本制度は、オール群馬コンテストの活性化に寄与することを目的とします。

要件 オール群馬コンテスト中のQSOにより ①オール群馬アワードの全市町村賞、全市全郡賞、88賞、73賞の要件を満たす ②コールサインのサフィックスのいずれかの文字を使用して「ALL GUNMA CONTEST AWARD」とつづり完成させることにより、本アワードの全市町村賞、全市全郡賞、88賞、73賞、オール群馬コンテスト賞を申請することができます ※オール群馬コンテスト賞の申請は、同一局とは日付、バンド、モードが異なっても一度限り。申請は必要な申請料を添えて本アワードの申請先へ申請書類を提出。本アワードはコンテストの提出書類(写し)による審査のみで、QSLカードを所持している必要はありません

申請受付締切 オール群馬コンテストの締切りと同じ

申請方法 ①サマリーシートのコピーの上部に「オール群馬コンテストアワード申請」と赤字で記入し、下記アワード係へ申請 ②電子ログ提出局は電子ログのサマリーシート部分を印刷して、①の方法で申請 ③

申請クラスの記入のほか特記事項がある場合は、サマリーシートの上部余白にその旨赤字で記入 ※電子申請も受け付けますので問合せください

注意事項 コンテストの提出書類といっしょにアワード申請書類は送らないでください ※同封された場合の紛失等事故の責任は負いかねます

申請料 JARL会員は無料。非会員は①、②で用意した書類と申請料500円を無記名の定額小為替で同封し申請

申請先 〒371-0811 前橋市朝倉町2-4-10 斉木和男方オール群馬コンテストアワード係

発行時期 支部大会で渡します。取りに来られない方は後日郵送

問合せ先 JH1QVW 斉木和男 jh1qvw@jarl.com

令和2年度群馬県支部大会

日時 7月19日(日) 10:00~15:00

場所 甘楽町文化会館 群馬県甘楽郡甘楽町大字白倉1322-1 ☎0274-74-7000

内容 [10:00受付開始] ○クラブ等展示 ○不用品フリーマーケット ○アマチュア無線なんでも相談コーナー ○JARL入会受付 ○JARL転送QSLカードの受付 ○アイボール10アワード など [13:00支部大会開会] ○令和元年度事業報告 ○令和2年度事業計画・収支予算 ○役員紹介 ○オール群馬コンテスト表彰(受付は12:00まで) ○お楽しみ抽選会ほか

出展の申込 展示やフリーマーケットの出展(店)を募集。クラブで出展希望のある方、個人で出展(店)、ジャンク店も歓迎 ○小間割の関係があります。事前に概要、屋内か屋外の希望、電源使用の有無をお知らせください。会場スペースの関係で屋外可能の方はできるだけ屋外をお願いします ※屋内は会場に限りがありお断りすることがあります ○会場備品を傷つけないよう長テーブル前後2個程の大きさの布(テーブルクロス)などを持参、汚れ防止、傷防止をして使用 ○屋外は電源自前をお願いします ○出展の準備は9時から ○申込は整理の都合で6月28日(日)~7月12日(日)

出展申込先 ○Eメール:jelsyn@jarl.com ○〒379-2154 群馬県前橋市天川大島町1-34-8 池田敏一 ※できるだけメールにて申込みお願いします ○郵便での申込みは往復ハガキで ※2日以内に返信(郵便は返信の投函)しますので、返信がない場合は再度問合せ

その他 ○会場は上信越道吉井ICから自動車で約15分 ○実施内容の詳細・会場へのアクセス等は支部HP (<http://www.jarl.com/gunma/>)に掲載(6月初旬頃掲載予定)

山梨県

令和2年度山梨ハムの集い

日時 6月7日(日) ○10:00支部役員/クラブ代表者会議/監査指導委員会 ○12:00受付開始 ○13:00開会

場所 甲府市健康の杜センター「アネシス」 〒400-1507 山梨県甲府市下向山町910番地 ☎055-266-6400 中央道甲府南インターより国道358号線を精進湖方面へ

約5分 三叉路を曾根丘陵公園方面へ右折、公園手前の左側 ※上履きを持参

内容 昨年度諸報告、本年度事業、予算計画、OSOコンテスト表彰、アイボール会、ミニ抽選会、ジャンク交換会(商業目的の販売不可)、登録クラブ活動報告、QSLカード転送受付

青少年お試し入会受付相談コーナー 期間限定ですが、22歳未満の方は入会金、会費(1年分)とも無料で入会できます。お知り合いの方で興味のある方がいましたら入会をお勧めください。アマチュア無線の資格の有無は問いません

JARL会員新規入会受付 入会金1,000円が免除になり、IDカードストラップ(カードケース付)のプレゼントがあります。3年会費支払いの場合には、コールサインIDカードとして使用できるプラスチックカードも発行されます

第15回山梨コンテスト

県外局同士の交信も有効です。皆さんの参加をお待ちしています。

日時 6月14日(日) 10:00~12:00JST

参加資格 日本国内の全てのアマチュア局

使用周波数・モード 【A部門】7/21/28/50MHz電信・電話 【B部門】144/430/1200MHz電信・電話 ※JARLコンテスト周波数を使用

部門 [県内] ○Y-1:A部門個人局 ○Y-2:A部門ニューカマー局 ○Y-3:B部門個人局 ○Y-4:B部門ニューカマー局 [県外] ○O-1:A部門個人局 ○O-2:A部門ニューカマー局 ○O-3:B部門個人局 ○O-4:B部門ニューカマー局 ※各部門とも電波型式の区別はしない ○使用電力は各局に免許された範囲で運用 ○ニューカマー:初めて局を開設した個人局であって、局免許年月日が開催日の3年前の同日以降に免許された局

呼出 ○電話「CQ 山梨 コンテスト」 ○電信「CQ YN TEST」

コンテストナンバー 次のナンバーを交換 ○県内局:RS(T)+自局の運用場所を示す市郡ナンバー ○県外局:RS(T)+自局の運用場所を示す都道府県ナンバー

得点 ○県内局との完全な交信:3点 ○県外局との完全な交信:1点 ※同一バンドで同一局との交信は電信・電話それぞれ1交信づつ有効 ○県外局同士の交信も有効 ○山梨県内局と1局以上交信すること

マルチプライヤー 各バンドで交信した異なる都道府県数と山梨県内市郡数の和

総得点 各バンドにおける得点の和×各バンドで得たマルチプライヤーの和

禁止事項 ○クロスバンドによる交信 ○コンテスト中の運用地点の変更 ○2波以上の同時発射 ○マルチオペレーターでの参加 ○レピータによる交信

失格事項 下記の①②に該当する局、上記禁止事項をおこなった局は失格 ※失格となった局はコールサイン、失格の理由を発表 ※失格の日から5年間は山梨コンテストへの参加を認めない ①同一バンド同一モードにおいて、重複交信がログに記載されている交信数の2%を超え、その交信を得点としている場合

②ログに記載されている内容について明らかに虚偽の記載が認められた場合

表彰 次の入賞局に賞状(PDFをメールにて) ○各部門の総得点順に書類提出局の20%以内で、かつ最大5位まで ※5局未満の場合1位のみ ※各部門優勝者には協賛企業より副賞

書類提出 ○JARLの電子ログフォーマットに準じて、部門別に所定の事項を記入して電子メールで提出 ○電子メールの件名(subject)はコールサインのみ ※/1や/QRP・部門番号などを入れないこと ※やむを得ない場合のみ、JARLのコンテストサマリー・ログでの提出を郵送でも受付 ○ニューカマー局：局免年月日をサマリー意見欄に明記 ○同一局の複数部門での書類提出は認めない ○入賞対象局には、重複する交信、マルチプライヤーの確認資料(チェックリスト)、交信または受信時に記入したログ(オリジナルログ)、送信機の名称、測定出力など運用時のデータ、免許関係書類等の提出を求められることがある

提出先 yn-test@qrj.jp [郵送] 〒407-0024 山梨県韭崎市本町1-5-26 千野方 YSRCMコンテストクラブ事務局

提出締切 6月末日 ※郵送の場合も必着

発表 JARL NEWS, 支部HPほか

※コンテスト運営上必要な事項はJARL山梨支部で協議決定

【山梨県内市郡ナンバー】 1701甲府市 1702富士吉田市 1704都留市 1705山梨市 1706大月市 1707韭崎市 1708南アルプス市 1709北杜市 1710甲斐市 1711笛吹市 1712上野原市 1713甲州市 1714中央市 17002北都留郡 17003中巨摩郡 17004西八代郡 17007南巨摩郡 17008南都留郡

2エリア

東海地方

静岡県

第30回静岡コンテスト

※30回記念イベント：部門ごとの過去のレコードを上回った局に、記念品を贈呈。過去のレコードはHP(<http://www.jarl.com/shizuoka/>)に掲示してあります
日時 5月4日(月/祝) 12:00~20:00 [運用時間]

○HFハイバンド 12:00~15:00 ○VHF/UHF/SHF 14:00~17:00 ○HFローバンド 17:00~20:00 (7MHz 14:00~20:00)

参加資格 国内アマチュア局とSWL

周波数 1.9MHz~24GHz ※WARCバンドを除く。10.1GHzと10.4GHzは同一バンドとして扱う

参加部門・種目(別表)

シングルオペFMハンディー機種目 ○50~1200MHz(全バンドでなくても可)のFM ○参加者の資格：限定しない ○出力：ハンディー機本体の出力 ○アンテナ：付属アンテナまたはそれに準じるもの(同軸などで延長するものは不可) ○電源：本体に内蔵できるタイプに限る(外部電源は不可、電池の交換は可)

交信相手 ○県内局：すべての国内アマチュア局 ○県外局：静岡県内運用局

呼出方法 ○電信 県内局「CQ TEST」 県外局「CQ

(別表)参加部門・種目

種目	コードナンバー			
	電信電話部門		電信部門	
	県内	県外	県内	県外
シングルオペオールバンド	FMS	FMX	CMS	CMX
シングルオペHFQRP(1W以下)	FHPS	FHPX	CHPS	CHPX
シングルオペ1.9MHz	—	—	C19S	C19X
シングルオペ3.5MHz	F35S	F35X	C35S	C35X
シングルオペ7MHz	F7S	F7X	C7S	C7X
シングルオペ14MHz	F14S	F14X	C14S	C14X
シングルオペ21MHz	F21S	F21X	C21S	C21X
シングルオペ28MHz	F28S	F28X	C28S	C28X
シングルオペ50MHz	F50S	F50X	C50S	C50X
シングルオペ144MHz	F144S	F144X	C144S	C144X
シングルオペ430MHz	F430S	F430X	C430S	C430X
シングルオペ1200MHz以上	F1200S	F1200X	C1200S	C1200X
マルチオペオールバンド	FCS	FCX	CCS	CCX
SWL	FSWLS	FSWLX	CSWLS	CSWLX
種目	電話部門			
	県内	県外		
シングルオペFMハンディー機	HFS	HFX		

S TEST」 ○電話 県内局・県外局「CQ 静岡コンテスト」 ※静岡県内運用局は、コールサインの前か後に「静岡県内局」を送出

コンテストナンバー ○県内局：RS(T)+市区町略符号(電話の場合は市区町名でも可) ○県外局：RS(T)+都府県支庁ナンバー ※QRP運用局(出力1W以下、430MHz以下)は自局のコールサインのあとにQRPを示す記号(/QRP)をつけて送出。QRP局と交信した場合、相手局のコールサインにQRPを明記(得点を2倍しない場合省略可)

得点 完全な1交信につき ○1.9MHz~430MHz：1点 ○1200MHz：3点 ○2400MHz：5点 ○5600MHz：10点 ○10GHz以上：20点 ○430MHz以下でQRP局と交信：その交信の得点を2倍(2点)にできる ○QRP局：430MHz以下のバンドでの交信の得点を2倍(2点、QRP局同士は4点)にできる ○SWL：交信を受信に置き換える ※県外のSWLは県外局の送信の受信は無効 ※同一局と同一バンドでの交信は、電信と電話それぞれ1交信ずつ有効

マルチプライヤー ○県内局：静岡県内の異なる市区町の数+都府県支庁の数 ○県外局：静岡県内の異なる市区町の数

総得点 各バンドで得た得点の和×各バンドで得たマルチの和 ※部門内の全バンドでなくても参加可

賞 参加部門(種目)ごとに、局数に応じ賞状 ○10局以下：1位 ○11~20局：2位まで ○21~30局：3位まで ○31局以上：5位まで ○その他：特に顕著な場合 ○登録クラブ対抗(静岡県内1位) ※SASE(長形3号封筒に94円切手を貼ったものに限る)同封の方に参加賞(ベナント)、結果表を贈る。電子ログ提出者で希望する場合は別途送付

ドナー賞 ドナー指定の要件に該当する方に賞品 ※新しいドナー賞を募集しております。ご協力いただける方は電子メール等でご連絡ください

禁止事項 ○クロスバンドの交信 ○コンテスト中の運用場所の変更(コンテストナンバーが変わらない範囲

内での移動は認める) ○同一バンドの2波以上の同時発射・シングルオペの2波以上の同時発射 ○JARL制定コンテスト周波数からの逸脱 ○複数部門・種目への書類提出(コールサインが異なっても不可) ○セルフスポッティングやスポットを依頼する行為 ○その他JARL主催コンテストのルール違反

提出書類・注意事項 ○マルチプレイヤーのログ記入は、静岡県の市区町は略符号、都府県支庁は数字 ○1バンド101局以上の交信は、重複交信チェックリストを添付(電子ログの場合は不要) ○サマリー・ログは、A4判JARL様式または同形式に限る ※ログシートはバンドごとに分けて記載し、同一バンド内は時刻順に記載 ○電子ログでの提出を推奨するが、様式は可能な限り旧書式[R1.0](マルチと得点は省略しないで記入)で、詳細は <http://www.jarl.com/shizuoka/> を参照 ○封筒の表に参加部門コードナンバーを記載 ○シングルオペは、コンテスト中の運用に関するすべてのこと(ログ記入、重複交信・マルチのチェック、設備操作など)をすべて一人でこなそう ○その他JARLコンテスト規約に準じる

提出締切 5月18日(月)消印有効 ※電子ログはタイムスタンプで判断

提出先 ○郵送: 〒426-8691 藤枝郵便局私書箱73号 岡本吉史(JA2JNA) ○電子ログ: shizuokatest@jarl.com ※電子ログでの提出を推奨

問合せ HP <http://www.jarl.com/shizuoka/> 参照 または ☎090-3250-0303(岡本)まで

後援 静岡県、静岡新聞社・静岡放送

【静岡県全市区町略符号】 [区]○静岡市 葵区AO 駿河区SG 清水区SI ○浜松市 中区NH 東区HG 西区NK 南区MM 北区KT 浜北区HK 天竜区TN [市]沼津NU 熱海AT 三島MI 富士宮FM 伊東IT 島田SM 磐田IW 焼津YZ 富士FJ 掛川KK 藤枝FE 御殿場GB 袋井FR 下田SD 裾野SU 湖西KS 伊豆IZ 御前崎OE 菊川KI 伊豆の国IK 牧之原MH [町]○賀茂郡 東伊豆HI 河津KZ 南伊豆MN 松崎MZ 西伊豆NI ○周智郡 森MR ○駿東郡 清水(町)SZ 長泉NM 小山OY ○田方郡 函南KN ○榛原郡 吉田YD 川根本KH

その他 詳細は、HP <http://www.jarl.com/shizuoka/> 参照

岐 阜 県

第23回オール岐阜コンテスト

目的 本コンテストを通じて、岐阜県のアマチュア無線局の活性化を促しつつ、岐阜県内外のアマチュア局の交流を図るとともに、アマチュア無線を通じて岐阜県を広くPRすることを目的とする

開催日時 6月13日(土)19:00~22:00, 14日(日)07:00~10:00(JST)

参加資格 日本国内の陸上で運用するアマチュア局

使用周波数帯 1.9~1200MHz帯 ※1.9MHz帯は、1907.5~1912.5kHz ※3.5~430MHz帯は、JARL制定コンテスト使用周波数帯 ※1200MHz帯は、総務省告示「アマチュア業務に使用する電波の型式及び周波数の使用区

別」によるが、本コンテストにおいては以下の運用推奨周波数を設定 ・CW:1294.060MHz(±QRM) ・SSB:1294.260MHz(±QRM) ・FM:1294.900~1295.100MHz

部門・種目・コードナンバー

	G区分	県内局	県外局
シングルOP 電信電話オールバンド※注1	A	G-SM	X-SM
シングルOP 電信電話オールバンド・QRP※注1・4	A	G-SMQ	X-SMQ
シングルOP 電信電話HFバンド・ハーフ※注2・5	B	G-SHH	X-SHH
シングルOP 電信電話V/UHFバンド・ハーフ※注3・5	C	G-SVH	X-SVH
シングルOP 電信電話HFバンド※注2	B	G-SHF	X-SHF
シングルOP 電信電話V/UHFバンド※注3	C	G-SVU	X-SVU
シングルOP 電信電話3.5MHzバンド	B	G-S3.5	X-S3.5
シングルOP 電信電話7MHzバンド	B	G-S7	X-S7
シングルOP 電信電話14MHzバンド	B	G-S14	X-S14
シングルOP 電信電話21MHzバンド	B	G-S21	X-S21
シングルOP 電信電話28MHzバンド	B	G-S28	X-S28
シングルOP 電信電話50MHzバンド	C	G-S50	X-S50
シングルOP 電信電話144MHzバンド	C	G-S144	X-S144
シングルOP 電信電話430MHzバンド	C	G-S430	X-S430
シングルOP 電信電話1200MHzバンド	C	G-S1200	X-S1200
シングルOP 電信オールバンド※注1	A	G-SCM	X-SCM
シングルOP 電信1.9MHzバンド	B	G-S1.9	X-S1.9
シングルOP 電話オールバンド※注6・7	A	G-SPM	X-SPM
シングルOP 電話144/430MHzバンド※注7・8	C	G-SPD	X-SPD
マルチOP 電信電話オールバンド※注1	A	G-MM	X-MM
マルチOP 電信電話オールバンド・ジュニア※注1・9	A	G-MJ	X-MJ

※G区分は岐阜新聞社・岐阜放送賞の対象部門(県内局のみ)

※注1: 使用バンドは1.9~1200MHz帯 ※注2: 使用バンドは1.9~28MHz帯 ※注3: 使用バンドは50~1200MHz帯 ※注4: 出力は5W以下。出力低減による運用を認める ※注5: 前半(土曜日)のみ、もしくは後半(日曜日)のみの参加 ※注6: 使用バンドは3.5/7/21~1200MHz帯 ※注7: 出力は10W以下(50~430MHz帯は20W以下)。出力低減による運用を認める ※注8: 使用モードはFMのみ ※注9: 2020年6月13日時点での年齢が18歳以下のOPによる交信局数が全体の80%以上であること

シングルOPの定義 コンテスト開催中、コンテストに関する諸作業をすべて独力でこなうこと。他者の助けを借りて運用した場合はマルチOP

交信相手 ○県内局: 日本国内の陸上で運用するアマチュア局 ○県外局: 岐阜県内の陸上で運用するアマチュア局

呼出 ○県内局「CQ TEST」「CQ コンテスト」 ○県外局「CQ GF」「CQ 岐阜県」

コンテストナンバー ○県内局: RS(T)+市郡ナンバー ○県外局: RS(T)+都府県支庁ナンバー

得点 コンテストナンバーを完全に送受できた交信を1点 ※同一バンドにおいて同一局とは、電信・電話それぞれ1交信ずつ有効

マルチプレイヤー ○県内局: バンドごとの異なる岐阜県の市郡数、岐阜県を除く都府県支庁数 ○県外局:

バンドごとの異なる岐阜県の市郡数

総得点 ○シングルバンド：当該バンドで得た得点×当該バンドで得たマルチプライヤー数 ○シングルバンド以外：各バンドで得た得点の和×各バンドで得たマルチプライヤーの和

書類提出 [郵送]○JARL制定のサマリーシート・ログシート、またはそれに準じるもの。サマリーシートを一番上にし、左上をホチキスなどで留めて提出 ○サイズは、A4に統一 ○サマリーシートの署名欄に自筆で署名した場合は、捺印不要 ○ログシートの交信記録は、バンドごとにとまとめて交信順に記載 [電子メール]JARL制定の様式で作成し、テキスト形式(ログデータは半角英数字で。HTML形式、XML形式などは文字化け等の可能性があるため不可)で本文に貼り付けて送付 ※圧縮ファイル・添付ファイルは不可 [マルチOP局・ゲストOP局・社団局によるシングルOP局] 運用者のコールサイン(もしくは姓名)、無線従事者資格を、運用者が1人でマルチOP各種目に参加する場合は、その理由を、サマリーシートの意見欄に明記 ※以上が明記なき場合は、チェックログ [ジュニア種目への参加局] OP全員の年齢をサマリーシートの意見欄に明記 ※明記なき場合は、マルチOP電信電話オールバンド種目への参加とみなす [参加部門] コードナンバーの記述が優先 ※該当しないコードナンバー記載の場合には電信電話オールバンド種目に参加とみなす

提出先 ○郵送：〒501-3716 岐阜県美濃市前野106市原修方 オール岐阜コンテスト係 ※必ず「コンテストログ在中」と明記 ○電子メール：je2qbl@jarl.com ※サブジェクトは半角英数字で「コールサイン、コードナンバー」例) JH2AFP/2 G-SM) ※必ずJARL形式のサマリー、ログをメール本文にテキスト形式で貼付ける。添付ファイル、HTML形式、EML形式でのメールは読めないため参加にならない場合がある(再提出をお願いする場合がある)

締切 6月30日(火)(消印有効) ※電子メールは送信時のタイムスタンプで判断

禁止事項 ○クロスバンド・クロスモードによる交信 ○シングルOP局の2波以上の電波の同時発射・同時交信 ○マルチOP局の同一バンドにおける2波以上の電波の同時発射 ○レピータ、衛星を介した交信 ○同一のOPによる複数局または複数種目へ書類提出 ※シングルOP種目とマルチOP種目の掛け持ち参加も認めず、双方失格

注意事項 ○2005年2月13日に長野県木曾郡山口村が中津川市へ編入合併したのを受け、中津川市(JCC#1906)から0エリアのコールサインで運用する固定局があります ○運用に当たっては、自局のコールサインを頻繁に送出すること ○それぞれの呼出周波数では、簡潔な呼出しをするとともに、使用に当たっては10分以上の間隔を置くこと ○マルチOP局は、直径500m以内にすべての設備を設営 ○コールサインが8J、8M、8Nから始まる記念局、特別局の参加は認めるがJARLが開設する局はチェックログ扱い

失格事項 ○提出書類に虚偽の記載が認められる場合 ○提出書類やその記載内容に著しい不備が認められる場合 ○本規約に定める事項に違反した場合

結果発表 支部HP(速報版を含む)、JARL NEWS2020年秋号(10月1日発行)予定

表彰等 ○各種目参加局数に応じ上位の局(参加局数の20%で最大5局まで。小数点以下の端数は切り上げる)を入賞、県内局は支部大会で表彰 ※原則としてコンテスト開始時点でJARL会員である者に限る ○県内局のオールバンド(表中G区分A)、HF(同B)、V/UHF(同C)の各部門で最も高い総得点を出した局(岐阜県在住者・在勤者に限る)に、岐阜新聞社・岐阜放送賞 ○総得点が同一の場合は、最終交信時刻の早い局を上位。最終交信時刻も同一で、すべての提出書類から交信の前後が判別できない時は、同順位

賞状の発行 ○支部大会来場時の県内局部門参加局には、賞状を手渡し(代理受領可・要事前連絡) ○前記以外の局で、2020年11月30日(消印有効)までに140円分の切手を貼付したSASEにて後日指定する提出先に請求した入賞局には賞状を郵送。それ以外の入賞局でサマリーにメールアドレスを記入した局についてはPDF化した賞状をメールで送付 ○前項にかかわらず、岐阜新聞社賞受賞局には、コンテスト委員会から賞状等を送付

問合せ 提出先までSASEか電子メールで ※電話不可

登録クラブ対抗 県内登録クラブの構成員(県内局部門シングルOP各種目参加者に限る)から申告された総得点ならびに申告数を集計のうえ、・得点部門：総得点の合計で競う ・局数部門：参加局数で競う、の2つの部門を設け、それぞれ1位のクラブを表彰。サマリーシートの登録クラブ対抗欄にクラブ番号・クラブ名称を必ず明記 ※明記なき場合は、構成員であっても集計対象外

その他 ○本規約中で明記されていない事項に関しては、JARLコンテスト規約に準じる ○本コンテストの結果に対するクレームは、書面に具体的な違反の事実を明記し、かつ、それを証明する資料を添え、記名・捺印のうえ、提出先まで郵送。締切は2020年10月31日(必着) ○提出したコンテスト書類で取得した個人情報、コンテストの案内、入賞者に対する表彰など、オール岐阜コンテストの業務遂行に必要な範囲で利用し、利用後は適切な方法で廃棄します

後援 岐阜新聞社、岐阜放送

Report 技術講習会終了



2020年2月9日に技術講習会をおこないました。ドローンに搭載可能な5.6GHz FM-TV(+音声)の送信機を制

作しました。

愛知県

ちびっ子電波体験教室2020



日時 5月24日(日) 10:00~11:30頃まで

会場 小幡緑地公園東園 芝生広場 東駐車場から高速くぐり右側 〒488-0857 愛知県尾張旭市桜ヶ丘町西 [電車] 名鉄瀬戸線印場駅下車、北へ徒歩約15分 [バス] 市バス印場中志段味行き乗車旭桜ヶ丘下車、徒歩3分

内容 ○電波を使ったおもしろゲームを実施し、電波の不思議を体験 ○親子でいっしょに参加ください ○災害発生時に活躍するアマチュア無線によるインターネット接続や、アマチュア無線局の公開運用もおこないます ※小学生以下の上位入賞者には記念メダルを贈呈し表彰

参加対象 小学生児童と保護者(中学生・高校生の生徒も参加可) ※公園内を動き回ります。帽子と動きやすい服装での参加をお勧め

参加費 無料

申込先 愛知県支部イベント申込Webサイト(<http://www.jarl.com/aichi/>) ※赤色のイベントWeb申込サイトへ進んでください

申込締切 5月17日(日)まで

注意 想定人数を越える場合には、締切前であっても申込みを終了することがあります ※お早めに申込みください

後援 情報通信月間推進協議会<http://www.jtgkn.com/>(予定)

※このイベントは、令和2年度「情報通信月間」の行事として実施します

三重県

第43回 オール三重33コンテスト

日時 5月5日(火/祝) 08:00~12:00JST

参加資格 アマチュア局, SWL(海外局も含む)

参加部門

種目	コードナンバー				
	県内局	JL局	県人局	県外局	
電信電話部門	マルチバンド	XA1	XB1	XC1	XD1
	3.5MHz	XA2-3.5		XC2-3.5	XD2-3.5
	7MHz	XA2-7		XC2-7	XD2-7
	21MHz	XA2-21		XC2-21	XD2-21
	50MHz	XA2-50		XC2-50	XD2-50
	144MHz	XA2-144		XC2-144	XD2-144
	FMモード	XA3		XC3	XD3
マルチオベ	マルチバンド	XA4		XC4	XD4
SWL	マルチバンド	XA5		XC5	XD5
電信部門	マルチバンド	CA1	CB1	CC1	CD1
	1.9MHz	CA2-1.9		CC2-1.9	CD2-1.9
	3.5MHz	CA2-3.5		CC2-3.5	CD2-3.5
	7MHz	CA2-7		CC2-7	CD2-7
	21MHz	CA2-21		CC2-21	CD2-21
	50MHz	CA2-50		CC2-50	CD2-50
	144MHz	CA2-144		CC2-144	CD2-144
マルチオベ	マルチバンド	CA4		CC4	CD4
SWL	マルチバンド	CA5		CC5	CD5

局種 ○県内局：三重県内で運用する局 ○JL局：三重県内で運用する中学生以下の局、女性局 ※県内局として参加することも可 ○県人局：三重県生まれまたは居住したことがある方が県外で運用する局：条件1 第42回(2019年)の当コンテストで入賞歴があり県外で運用する局(通称：名誉県人局)：条件2 ※マルチオベ部門については代表者が条件1を満たすか、対象局が条件2を満たすこと ○FMモード：28MHz帯以上でF3Eによる交信に限る

周波数 全アマチュアバンド(3.8/10/18/24MHz帯を除く) ※JARLコンテスト使用周波数帯を使用

呼出方法 「CQ オール三重33コンテスト」「CQ ME TEST」 ※局種識別のため、県内局、JL局はコールサインの後に「三重県内局」「/ME」を付加し、県人局はコールサインの後に「三重県人局」「/MEJ」を付加する

コンテストナンバー ○県内局、JL局：RS(T)+年齢(00でも可)+ME 例)59954ME ○県人局：RS(T)+年齢(00でも可)+MEJ ○県外局：RS(T)+年齢(00でも可) ※年齢を送信することを避けたい場合は00

交信相手 ○県内局、JL局、県人局：すべてのアマチュア局(海外局を含む) ○県外局：県内局またはJL局、県人局

得点(別表)

※同一バンドではモードが異なっても1回のみ交信が有効

(別表) 得点

参加局種	交信相手局			
	県内局	JL局	県人局	県外局
県内局	3点	3点	1点	1点
JL局	3点	3点	1点	1点
県人局	3点	3点	1点	1点
県外局	3点	3点	1点	無効

マルチプライヤー 異なる年齢の数 ※バンドが異なれば同じ年齢も有効 ※00も有効

総得点 各バンドで得た得点の和×各バンドで得たマルチの和

書類提出 ○JARL様式のログ・サマリーを使用し、5月31日(消印有効)までに支部に提出 ○封筒には「コンテストログ在中」と朱書き ○書類提出は1部門のみ ○JARL三重県支部：〒514-0052 三重県津市神納町11-25 長谷川方 ○電子メールによる電子ログはlog-contest@jarl-mie.com宛に送信 ○提出データ形式などはJARLコンテスト委員会制定の方法に準じる ※詳細は支部HPをご覧くださいのうえ、できる限り電子ログによる提出を希望

表彰 ○各部門とも参加局数10局以下1位、11～30局3位まで、31局以上5位までに賞状 ○県外局、県人局のシングルオペ50MHz、144MHz部門は上位1/2以内のエリア1位に賞状 ○日本以外のカントリー1位に賞状 ○各部門33位を特別賞として賞状 ○1位の局には県内協賛クラブまたは個人より楯が贈られることがある ○県内登録クラブ対抗の1位に楯を、上位に賞状

禁止事項 ○クロスバンド、クロスモード、レピータによる交信 ○同一バンド2波以上の同時発射 ○シングルオペ局の2波以上の同時発射 ○マルチオペの複数地点からの運用

その他 ○県内登録クラブ対抗はその構成員のシングルオペ、登録クラブが所有する社団局(1局のみ)のマルチオペの得点の和で競う ○問合せはSASEまたはEメールに限る(問合せ専用: info-contest@jarl-mie.com) ○結果冊子を希望する場合は84円切手を同封 ※SASE不可 ○結果は支部HP (http://jarl-mie.com) にて発表 ○その他、JARLコンテスト規約に準じる

フィールドミーティング

野外でアマチュア無線を楽しんでみませんか。昼間はFOXハンティング、無線雑学講座などを予定、夕方からパーベキューと親睦を目的とした催しです。また、支部クラブ局の公開運用もおこないます。日中はJARL会員の方も運用できます。会員証を持参のうえお越しくください。遠くの局との交信やSSB・CW運用の醍醐味に触れてみてはいかがでしょうか。興味のある方はぜひともご参加ください

日時 5月23日(土) 13:00～24日(日) 10:00

場所 青山高原保健休養地キャンプ場 伊勢道久居ICから約40分弱

内容 ○FOXハンティング、無線雑学講座など ※主に野外での無線関連行事を予定 ○夕方より、パーベキュー ○JJ2YJCの公開運用

宿泊 貸別荘またはバンガロー等を使用予定

予約等 ○昼間の行事参加は無料 ○夕方からのパーベキュー参加と宿泊には、事前予約が必要 ○参加費・予約方法など詳細は、支部HP (http://jarl-mie.com/) 参照

3エリア

関西地方

地方本部

関西VHFコンテスト

日時 5月9日(土) 21:00～10日(日) 12:00

参加資格 ○管内局：近畿総合通信局管内で運用のアマチュア局 例) JA3RL, JA3YRL/3, JA1YRL/3 ○管外局：前記以外の日本国内のアマチュア局 ※8J, 8Nで始まる局の参加は歓迎するが、提出ログはチェックログ

使用周波数帯 28MHz帯以上の各アマチュア帯 ※28～430MHz帯の使用周波数については、JARLの規約に準じる ※1200MHz帯以上は総務省告示の使用区別による

呼出 ○電話「CQ JA3コンテスト」 ○電信「CQ JA3 TEST」

交信相手局 ○管内局：日本国内の局 ○管外局：管内局に限る

コンテストナンバー ○管内局：RS(T) + 市、郡、区ナンバー ○管外局：RS(T) + 都県・北海道の地域のナンバー

得点 1交信1点 ※同一バンドでの重複交信は1交信を除き電波型式が異なっても得点としない

マルチプライヤー ○管内局：管内の異なる市郡区、管外の異なる都県・北海道の地域 ○管外局：管内の異なる市郡区

総得点 ○シングルバンド：当該バンドの得点の和×当該バンドで得たマルチの和 ○マルチバンド：各バンドの得点の和×各バンドで得たマルチの和

参加部門・種目 必ず該当のコードをサマリーシートに記入 ※電話のみの参加は電信電話部門に含む

種目	電信部門		電信電話部門	
	コード		コード	
	管内局	管外局	管内局	管外局
マルチバンド	KCM	CM	KFM	FM
28MHzバンド	KC28	C28	KF28	F28
50MHzバンド	KC50	C50	KF50	F50
144MHzバンド	KC144	C144	KF144	F144
430MHzバンド	KC430	C430	KF430	F430
1200MHzバンド	KC1200	C1200	KF1200	F1200
2400MHzバンド	KC2400	C2400	KF2400	F2400
5.6GHz以上マルチバンド	KC5600	C5600	KF5600	F5600
マルチオペマルチバンド	KCC	CC	KFC	FC

禁止事項 ○クロスバンドによる交信 ○コンテスト中の運用地点変更 ○シングルオペの2波以上の同時発射 ○マルチオペの同一バンド内における2波以上の電波の同時発射 ○マルチオペの複数地点からの運用 ○レピータによる交信 ○シングルオペが複数のコールサインで書類を提出 ○マルチオペとして参加した人が、同一地点において他の局で参加 ※そのマルチオペ局の得点とすることも書類提出もできない

書類提出 ○参加局は、両部門を通じて1つの種目のみ

に提出 ○電子メールによる提出を推奨します。電子ログは、JARL制定のものまたはこれに準じる形式で本文に記入し、ja3test@jarl.com に送る。「件名」は、「(あなたの)コールサイン」 ○FD, MO, SDなどのメディアでの提出は無効 ※電子ログ提出時のお願いと注意事項は、<http://www.eonet.ne.jp/ja3-test/>を参照 ○郵送: JARL制定のサマリー・ログシートまたはこれと同形式のもの 〒569-1032 高槻市宮之川原 2-3-10 上村方 JARL 関西地方本部コンテスト委員会宛

提出期限 6月10日(水) 電子メール、郵送とも
賞 各部門、各種目ごとに参加局数に応じて、上位の局に賞状、それに含まれない、その種目の上位30%に含まれる各府県(管外の局は各エリア)の最高得点局に賞状

審査 JARLコンテスト規約に準じる

注意事項 ○コンテスト結果送付希望局は、SASE(返信用封筒:長形3号に自分の住所・氏名を記入し84円切手を貼る)を同封 ○サマリーは記入する個所が多いので記入もれがないようにする。宣誓に対する日付、署名、捺印(サイン)もお忘れなく ○移動局の場合は、移動先を必ず記入 ○社団局・マルチオベは書面の場合はオペレータの資格・コールサイン(氏名)を意見欄に記入。電子ログ提出時はマルチオペリストの欄に記入 ○電子ログによくある間違いとして、送受信レポートにRS(T)だけが書かれていたり、RS(T)が抜けている ○オリジナルログの提出を求める場合がある

クレーム JARL NEWSで結果発表後20日以内に連盟本部に準じた書面で、上記書類提出先まで「関西VHFコンテスト・クレーム」と明記

奈良県

奈良ARDF練習会

支部では、今年もARDF練習を次の要領で開催します。会員や青少年の皆様、ぜひお誘い合わせのうえ多数の参加をお待ちしています

日時 5月5日(火/祝) 小雨決行

受付 13:30~14:00 ※事前申込みは不要。当日、直接会場へお越しください

集合 アイコムならやま研究所前駐車場 奈良市左京6-5-7 JR大和路線平城山駅下車徒歩10分 駐車場あり

周波数 3.5MHz (FOX-O競技形式)

参加料 無料

準備物 ARDF用の3.5MHzの受信機を持参。必要に応じて飲み物や救急薬品等

内容 発振器を用意しますので電波方向探知の腕慣らしをしたい方はどんどん参加してください。練習会ですので、初心者には探索方法の指導もします

注意 研究所内見学等はありません。研究所近くのコンビニは閉店してます

担当 奈良育英学園情報技術部 アマチュア無線若草山クラブ

問合せ JR3BKH 中田雅之(jr3bkh@jarl.com)

開催の詳細は、支部HP(<http://www.jarl.com/nara/>)に掲載

Report CW実技講習会開催



2020年1月19日(日)に、生駒郡斑鳩町の「いかるがホール」で、CW実技講習会を開催しました。講習会は「資格はあるが実践体験が少ない」「海外とCWでQSOしたいが自信がない」といった方々を対象におこなっています。

今年も特に講義を減らして実践に力を入れ、マンツーマンに近い状態で、受講者皆様のCWレベルに応じて、それぞれに最適なレベルで、なるべく多くの時間を割いての講習をおこないました。

CW講習会用に、支部オリジナル設計の「エレキー内・7MHz CW QRPp 送受信機」を使用し、各自がキーとヘッドホンを接続して実践に近い状態でのQSO練習もおこなっています。

講師先生からのアドバイスで、CW上達のコツ、それは「継続は力なり」日々の練習が重要で必ず毎日練習すること。それ以外に修得方法はない。また、上達してからCWを始めようとするのは間違いです。すぐ実践開始、そしてQSOで「恥をかけ!!」汗をかかないと上達はないとお話には、みなさんは共感をされていました。

奈良県内にとどまらず、他エリア、他府県から多数の方々の受講をいただき、趣味の世界、経験や年齢など関係なく、意欲的に取り組み、自分を磨き、さらに高めていこうとする共通の熱意を感じさせられました。

受講者は13名(県内6名、県外7名)で、講師は10名でした。

4エリア

中国地方

島根県

第40回島根対全日本コンテスト

日時 6月21日(日) 9:00~16:00

参加資格 日本国内で運用するすべてのアマチュア局

使用周波数 ○HF部門: 7/21/28MHz帯 ○V・UHF部門: 50/144/430MHz帯 ※JARLコンテスト使用周波数帯参照。使用モードはCW/SSB/FM ※スタート時刻、コンテスト使用周波数帯の逸脱に注意

部門 [県内局] 島根県内に常置場所を有し参加する局 ※常置場所が島根県外にある局は、県内局にはならない ※JARL正会員で「島根県内に居住し島根県支部名簿に登録されている局は、県内局 ※令和2年3月7日現在の登録者は、支部HPに掲載 <コードナンバー・名称> ○1A: HF部門 個人局 ○1B: V・